

今こそ、子どもを真ん中に!!

私たち一人一人が行重んよう

子どもたちを健やかに育むための、大人としての行動規範を示した「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念を礎に、全ての子どもたちの今と未来のために、私たちPTAが先頭に立って取り組みましょう。



子どもを共に育む京都市民憲章

わたくしたちのまち京都には、子どもを社会の宝として、愛し、^{いつく}慈しみ、将来を託してきた、人づくりの伝統があります。

そうした伝統を受け継ぎ、人と自然が調和し、命のつながりを大切に、子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くことは、京都市民の使命です。

大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切に、子どもを見守り、^は褒め、時には叱り、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを取り巻く^の状況を常に見つめ、命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で臨む必要があります。

わたくしたちは、子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆^{きずな}を結び、共に生きるうえでの行動規範として市民憲章を定めます。

わたくしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆^{きずな}を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

(平成19年2月5日制定
同年3月13日憲章推進の市会決議)